



学校だより



尾張旭市立西中学校

令和2年度 12月25日

「いつの時代も美しく」

9・10月に、数か月遅れの修学旅行と林間学校を無事終えることができました。コロナ禍での対策と工夫をした旅行でした。修学旅行の初日は、加賀百万石の城下町を散策し、地元工芸を味わいました。2日目のアルペンルートの最高地「室堂」の気温は出発地より20度も低く、遙かに下界を望む別天地です。やがてたどり着いた黒部ダムは、ため息が漏れるほどの美しさです。ダム貯留水が放水されると、霧となり消えていきます。3日目は学級別でのアクティブアドベンチャー体験。自然を満喫しました。



林間学校では、入村式の後ウォークラリーをしながらクイズを楽しみました。夜になると山の中は当然真っ暗。肝試しの前に見たビデオが怖すぎて、恐怖の音が響きます。2日目は、クラブトースpoon作りと自然探索。ボール遊びに飽きたら小川でサワガニと戯れたり、ドングリで遊んだり、草むらでかくれんぼです。キャンプファイヤーは、どのグループも自信に満ちあふれた発表、最後の光のトワリングでは、美しい幻想の世界を垣間見ました。3日目、鮎のつかみ取りを体験し、命について考えさせられました。また、その後の文化発表会・体育大会などの学校行事についても、コロナ対策をしながら行事の持ち方を工夫して進めることができました。

さて、先日地域の方からこんな話を聞きました。「朝、道ですれ違う中学生に“おはよう”とあいさつをすると、ほとんどの生徒は“おはようございます”と返してくれます。でもね、毎日のようにこちらからあいさつしても、ぜんぜんあいさつしてくれない子がいるんですよ。あいさつは、コミュニケーションの基本です、“いい天気ですね”でもいい、自分から相手にするものです。ふれあいの言葉が大切なんです。」さらに話は続きます。「今あいさつできない子が、将来コミュニケーションができる大人になれるよう、我々大人が手本を見せてやる必要があります。だから毎日あいさつしているんです。」「不易」(ふえき)をいつの時代も変わらないこと、「流行」を時代に応じて変わっていくこととするならば、あいさつはいつの時代にも通用する美しい言葉＝「不易」だと思います。学校、保護者、地域の方々と協力しながら、自分から進んであいさつのできる子を育てていきましょう。

新型コロナウイルス感染症に関連して、差別やいじめなどの人権問題が心配されています。感染を理由に、差別やいじめをすることは断じて許されません。誰もが明日には感染するかも知れない状況です。相手を傷つけるような発言や行動をしない、SNSなどへ個人情報を書き込まない等、人権の尊重について一層のご協力をお願いします。

2学期の間、教育活動へのご理解とご協力、ありがとうございました。

校長 前野浩司

< 2学期の学校の様子 >

9月 地域おじさんおばさんあいさつ運動(3)

青少年健全育成推進委員の方々、PTAなど多くの地域の方に参加していただきました。



修学旅行(15~17)、林間学校(29~10/1)

10月 中間テスト(8)、生徒会役員選挙(9)

コロナ禍なので校内放送による生徒会役員選挙となりました。



駅伝大会(17) 雨が降りとても寒い中、瀬戸旭の4校が参加し開催されました。とても熱い戦いが繰り広げられました。



文化発表会「合唱・創作の部」(29)

すばらしいハーモニーに聞き惚れ、驚きのパフォーマンスに目を丸くした楽しい時間でした。



体育大会(30) さわやかな秋晴れの中、全力で競技に取り組む姿に感動しました。



11月 期末テスト、進路説明会(4)

12月 三者懇談会(8~11)

人権動画集会(17) 講師陶生病院医師

***** お願い *****
 ・ご家族全員で3密の回避やマスクの着用など新型コロナ対策を十分に行うとともに、生活のリズムを守らせ、充実した年末・年始となるようご指導をお願いします。

・12月28日、1月4日は学校閉校日、12月29日~1月3日は、年末年始の休業日となりますのでご了承ください。

